

学術出版物及び学会発表の目録

1. 学術出版物

A. 著書

氏名	専攻	書名	単著 共著	発行所名	概要 分担執筆の章等名、分担題名、開始頁 - 終了頁	発行 年月
岡崎 英規	健康栄養	〔社会・環境と健康〕 公衆衛生学2022/2023	共著	同文書院	管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）に沿い、最新の 内容とデータを加えた管理栄養士・栄養士養成課程の教科書と して執筆した。第16章 産業保健 p 215-224	2022年 3月

B. 学術論文

氏名	専攻	論文題名	掲載誌名 掲載巻号頁	概要 全共同研究者名	発表 年月
小河原佳子	健康栄養	コロナ禍における子育て支援事業「ベビークッキング」実践報告	武蔵丘短期大学紀要 29, 57-60	コロナ禍における吉見子育て支援センター事業の離乳食教室 「ベビークッキング」の実施についての実践報告である。年5回 のところ3回で実施し、授業形態を感染症予防の観点から調理実 習から講義に変更した。保護者の要望に応える対策の検討が今 後の課題である。	2022年 3月
長島 洋介	健康栄養	Association between 24 h Urinary Sodium and Potassium Excretion and Dietary Intake in Japanese Male Adolescent Football Players Associations between Milk and Dairy Product Intake, Urinary Sodium-to-Potassium Ratio, and Socioeconomic Status in Japanese Male Adolescents	MDPI, <i>Adolescents</i> , 1(4), p. 461-472 MDPI, <i>Adolescents</i> , 2(1), p. 73-85	本研究では24時間採尿を用いて、日本人の中学生サッカー選手 の尿中栄養バイオマーカーを評価し、食品群別摂取量との関連 性を検討した。Nagashima Y, Horikawa A, Mori M. 本研究ではスポット採尿を用いて、小学生と中学生の尿中栄養 バイオマーカーを評価し、食品群別摂取量と社会経済状況との 関連性を検討した。Nagashima Y, Horikawa A, Mitsume A, Mori M.	2021年 10月 2022年 2月
木元 泰子	健康栄養	栄養専門学校の基本味の識別について (第1報) 給食実習における食品廃棄率の測定値と日 本食品標準成分表値の比較 (第1報)	武蔵丘短期大学紀要 29, 49-52 武蔵丘短期大学紀要 29, 53-56	専門学校生を対象に基本4味の識別を行った。酸味が最も識別す ることができ、苦味が最も識別できなかった。、日常的な生活 でのカフェイン摂取頻度影響があると推察された。 池田大佑、木元泰子、浅香透 他 給食実習において使用する野菜について、実際の廃棄率と食品 成分表の廃棄率を比較した。食品成分表と比較して、実際の廃 棄率の方が高い傾向だった。角野仁美、木元泰子、若井麻由 他	2022年 3月 2022年 3月

氏名	専攻	論文題名	掲載誌名 掲載巻号頁	概要 全共同研究者名	発表 年月
菊地 亨	健康栄養	ゼリーの甘味評価に対する香りと色の複合効果	武蔵丘短期大学紀要 29, 1-6	ゼリーを摂取した際の甘味評価に対する香りと色の複合効果について、官能評価を実施して検討した。	2022年 3月
三ツ目彩菜	健康栄養	給食実習アンケートにおける一考察：因子分析と重回帰分析を用いたアンケートデータの解析 Associations between Milk and Dairy Product Intake, Urinary Sodium-to-Potassium Ratio, and Socioeconomic Status in Japanese Male Adolescents	武蔵丘短期大学紀要 29, 13-16 MDPI, <i>Adolescents</i> , 2(1), p. 73-85.	武蔵丘短期大学の給食管理実習で提供している給食の満足度アンケート結果を、因子分析と重回帰分析を用いて解析、検討した。 菊地亨、三ツ目彩菜	2022年 3月
内藤 郁芳	健康スポーツ	学校保健・学校安全・危機管理に関する研究 群馬県内高等学校における新型コロナウイルス感染症への対応についての考察 その2	武蔵丘短期大学紀要 29, 13-16 武蔵丘短期大学紀要 29, 17-26	本研究ではスボット採尿を用いて、小学生と中学生の尿中栄養バイオマーカーを評価し、食品群別摂取量と社会経済状況との関連性を検討した。 Nagashima Y, Horikawa A, Mitsume A, Mori M.	2022年 3月
伊藤えつ子	健康スポーツ	高等学校における特別支援教育の支援に関する研究	武蔵丘短期大学紀要 29, 27-48	武蔵丘短期大学の給食管理実習で提供している給食の満足度アンケート結果を、因子分析と重回帰分析を用いて解析、検討した。菊地亨、三ツ目彩菜	2022年 3月
川井 明	健康スポーツ	ジョン・ウドウンの指導者哲学 "ONE-ON-ONE"の翻訳を通して(後半)	帝京大学スポーツ 医療研究 14, 1-16	昨年度に引き続き群馬県内高等学校を対象に、新型コロナウイルス感染症への対応に関する調査を実施した。今回の調査では、昨年度一年間の各学校における経験と踏まえた中で、新型コロナウイルス感染症への対応に関する校内の組織体制や指導計画等をどのように点検し変更等を行ったかを調査し、考察を加えた。	2022年 3月
島田里緒菜	健康スポーツ	高等学校における特別支援教育の支援に関する研究	武蔵丘短期大学紀要 29, 27-48	本研究の目的は、1つには高等学校の特別支援教育の体制整備の状況を研究動向から検討し、2つめには高等学校の教科学習、特に英語と数学について、学習に困難を有する生徒に対する支援方法等の研究動向を検討することである。島田里緒菜、伊藤えつ子	2022年 2月
				「20世紀最高の指導者」であるジョン・ウドウンの指導者哲学を語る(後半)	2022年 3月

氏 名	専 攻	論文題名	掲載誌名 掲載巻号頁	概 要 全共同研究者名	発表 年月
島田里緒菜	健康 スポーツ	本学学生の水泳能力と評価表を用いた水泳 授業の展開	武蔵丘短期大学紀要 29, 61-66	本学学生の水泳記録を水泳授業前後比較し、授業改善に資する 資料を得た。太田あや子、高橋季絵、板村邦弘、久保直也、福 島邦男、島田里緒菜	2022年 3月
福島 邦男	健康 マネジメント	本学学生の水泳能力と評価表を用いた水泳 授業の展開	武蔵丘短期大学紀要 29, 61-66	本学学生の水泳記録を水泳授業前後比較し、授業改善に資する 資料を得た。太田あや子、高橋季絵、板村邦弘、久保直也、福 島邦男、島田里緒菜	2022年 3月
太田あや子	健康 マネジメント	本学学生の水泳能力と評価表を用いた水泳 授業の展開	武蔵丘短期大学紀要 29, 61-66	本学学生の水泳記録を水泳授業前後比較し、授業改善に資する 資料を得た。太田あや子、高橋季絵、板村邦弘、久保直也、福 島邦男、島田里緒菜	2022年 3月
植松 大介	健康 マネジメント	実践型講義及び実習を通しての日本文化理 解の試み「日本人の礼儀作法、日本料理の 食事作法特別実習」に関する実践報告	武蔵丘短期大学紀要 29, 67-70	健康マネジメント専攻の学生を対象に「日本料理作法特別実 習」を2019,20年に日本料亭の一室をお借りし開催した。食事 の作法だけでなく、入店（室）から退店（室）までの一連の作 法から、立ち方、着座、跪座、座布団の取扱い、歩き方、箸、 什器の取扱いに至るまで「日本料理」を頂く上で修得しておく べき所作、立居振舞を学ぶ実践実務に関する実践報告である。 植松大介、薦洋子	2022年 3月
		埼玉県川島町の地域資源の価値向上を目標 とした動画制作・配信に関する実践報告ー埼 玉県川島町と武蔵丘短期大学における包括 連携協定に基づく協働研究・初年度経過報 告	武蔵丘短期大学紀要 29, 71-77	武蔵丘短期大学と埼玉県川島町は、令和元年10月、協働基盤と して包括連携協定を締結している。本研究では、同協定に基づ き、町の地域資源の調査を行い、動画の制作配信及びアナリ ティクス機能を活用した試聴傾向の分析を行なった。また、活 動を通じ、川島町内外における政策推進に携わる機会に繋が り、同協定の更なる強化に発展した。八板将明、植松大介	2022年 3月
八板 将明	健康 マネジメント	埼玉県川島町の地域資源の価値向上を目標 とした動画制作・配信に関する実践報告ー埼 玉県川島町と武蔵丘短期大学における包括 連携協定に基づく協働研究・初年度経過報 告	武蔵丘短期大学紀要 29, 71-77	武蔵丘短期大学と埼玉県川島町は、令和元年10月、協働基盤と して包括連携協定を締結している。本研究では、同協定に基づ き、町の地域資源の調査を行い、動画の制作配信及びアナリ ティクス機能を活用した試聴傾向の分析を行なった。また、活 動を通じ、川島町内外における政策推進に携わる機会に繋が り、同協定の更なる強化に発展した。八板将明、植松大介	2022年 3月

2. 学会発表

氏名	専攻	発表論文題名	発表学会名 要旨の掲載巻号頁	概要 全共同研究者名	発表 年月
長島 洋介	健康栄養	ゴルフ選手のラウンド中の身体状況と水分補給状況に関して	日本スポーツ栄養学会, 日本スポーツ栄養学会第7回大会大会プログラム・抄録集, p. 80.	本研究では、ゴルフのラウンド時における水分摂取量、体重の変化量および脱水について調査を行った。本研究の結果では、ラウンド後半にかけて脱水傾向にある選手がいることが示され、水分補給計画を指導する必要性があることを明らかにした。金子香織, 片岡沙織, 長島洋介, 堀井弘太郎, 田口素子	2021年 7月